

優 秀 賞

「母の負担を減らすために」

中札内中学校一年 林 まりい

私の父と母は家庭を支えるためにそれぞれの仕事に行き、私と姉と妹は色々な事を学ぶためにそれぞれの学校に行きます。皆さんの家庭も大体こんな感じでしょう。そして、それぞれが行くべき場所で、やるべき事をやって、心も体も一番リラックスできる我が家に帰って来るのです。しかし、このリラックスできるはずの我が家で、他の家族よりリラックスできる時間が圧倒的に短い人物が一人います。大抵見当はつくでしょう。そう、母です。私はこの母のリラックスできる時間が少ない理由やその上で大切な事をまとめます。

まず、なぜリラックスできる時間が少ないのか、です。これについて私は、家事全般を母が背負っているからだと考えます。我が家では、母以外の家族が、母がやっている家事を手伝う事はあっても、主体的にやる事はありません。他の家庭だって、家事に母が関わらないという事はあまり無いでしょう。一体なぜ、こんなにも母の負担が大きくなってしまったのでしょうか。私が考えた理由は大きく分けて

三つあります。

一つ目は、昔ながらの「男は外、女は中で働く」という考えがまだうつすらと残っているという事です。ですが、外で働く女性も多い今、それはただの不公平になってしまします。

二つ目は、他の家族がそもそも家事のやり方を知らないという事です。もしこのままやり方を知らないでいたら、母も辛いまま、自分も後から辛い思いをしたいと思います。

三つ目は、家族に一人ひとりが自分の中で、言い訳をつくっているという事です。学校生活や仕事で、自分が一番疲れているんだと思いこんでしまうんだと思います。辛いと思う物事も人それぞれですが、その上で互いに支え合う事が大切なのではないのでしょうか。